

2016年度（平成28年度）

コース名 数学・情報数理学コース

領域名 代数学領域

教員名 越谷 重夫

電子メール [koshitan 理 math.s.chiba-u.ac.jp](mailto:koshitan@math.s.chiba-u.ac.jp)

※メール送信の際は、「理」を半角@に変更してください。

(1) 研究論文などのリスト（印刷中を含む）

	著者・発表者等	タイトル	発表雑誌・会合等	巻・号	頁	発行・発表年等	掲載論文のDOI(付与されている場合)
(1)	Britta Spaeth, Shigeo Koshitani	The inductive Alperin-McKay and Blockwise Alperin weight conditions for blocks with cyclic defect groups	Journal of Group Theory	19	pp.771--813	2016	
(2)	Caroline Lassueur, Shigeo Koshitani	Endo-trivial modules for finite groups with dihedral Sylow 2-subgroups	Journal of Group Theory	19	pp.635--660	2016	

(2) 卒業研究、大学院修士および博士論文修了指導人数

- ・卒業研究 0名
- ・大学院修士 0名
- ・大学院博士 1名

(3) 教育業績（自己申告、テキストの作成など、授業の工夫など）

なし

(4) 国際会議出席と招待リスト

- 「局所表現論についての先端講演」スイス H.28.7.16--8.1 スイス・連邦工科大学ローザンヌ EPFL スイス 招待出席
- 「有限群の表現論における自己 p 置換加群および自明ソース加群」スイス・連邦工科大学ローザンヌ EPFL スイス スイス H.28.9.2 Yet small 1-PIMs 招待講演
- 「有限群のブロックに対する森田同値問題」スイス・連邦工科大学ローザンヌ EPFL スイス スイス H.28.9.9 The Z^*3 -theorem from source algebras point of view 招待講演
- 「有限単純群、融合系および表現」 H.28.12.12—16 スイス・連邦工科大学ローザンヌ EPFL スイス 招待出席

(5) 新聞や雑誌等で報道された研究成果等 (報道媒体, 報道年月日, 報道内容等)

なし

(6) 国際並びに国内学会での受賞 (賞名, その内容, 受賞理由等)

なし

(7) 国際共同研究 (共同研究名, 研究内容等)

所属	職種	氏名	共同研究名	研究内容	年度
ドイツ	准教授	Juergen Mueller	ブルエ予想とその周辺	有限群の表現論におけるブルエ予想とその周辺 Small 1-PIM など	28

ドイツ 准教授 Caroline Lassueur 有限群と多元環の表現論
自明な自己準同型環と多元環の表現論の関係 H.28 年度

イタリア 教授 Thomas Weigel 1次元ソースをもつ整環上の加群
整環上での表現論を用いてマッカイ・アルペリン予想を解く

(8) 地域・社会と連携した教育・研究活動, 学会、国、県などへの協力, など

・委員会などの名称とその役割を記載: 書式自由

1. 日本数学会 出版委員会委員長
2. 国際学術雑誌の審査員 (レフェリー) 5件
3. アメリカ数学会評論誌(Mathematical Review) 記事執筆 3件

(9) 特許 (発明者名, 発明の名称, 出願日, 出願番号, 整理番号等) (現時点で公表できるもののみ)

なし